

## 【産業課】

議員 農業の支援施策は色々あるが予算ほどの成果が出ているか？

課長 農地は毎年減少している。5年ごとに実績と施策を検証している。

議員 新規就農者の状況は？

課長 今年度28名の新規就農者がおり、初期投資の少ない施設園芸がメインである。

議員 ため池ハザードマップを作成しているが、防災対策に活用できているのか？

課長 3年度はハザードマップの作成、行政区長さんに渡している。運用については自主防災組織にお願いしているが、今後は安全係と連携をしていきたい。

議員 地域おこし協力隊の活動費の運用と管理はできているのか？

課長 月間の上限を決めて、毎月報告を受け運用している。

議員 中山間地の農地荒廃の状況と森林災害の関係は？

課長 毎年30ヘクタールの事業をしている。荒廃山林と間伐など森林組合と

連携して運用している。

議員 逆瀬ごつとん館の契約と今後の見通しは？

課長 事業者と意見交換し、後継者を含め模索している。

議員 ひろかわ繊維産地の機能強化事業の目的と実施内容の整合性は？

課長 久留米かすり産業の活性化を図り移住定住に繋げる予定。関係団体と連携協力を図り実施している。産地ブランド化を目指す。

## 【環境課】

議員 資材や人件費等の高騰が続いているが問題はなかったか？

課長 年度末にそのような話があがったが、令和3年度の決算では影響がなかった。4年度は2〜3割の高騰が見られている。

## 厳しい優先順位の選択を。

〜 監査委員意見 〜

予算の執行及び経理事務、財産の管理など財務関連事務は良好な執行が伺えるが、さらなる改善を要望する。一般会計及び特別会計は、いずれも適正な予算執行となっており、黒字決算をもって翌年に繰り越されている。

限りある財源を有効活用するため徹底した経費削減に取り組む必要があるが、一方的な財政縮減の考え方に偏らず必要な事業には積極的に取り組むことが求められるため、これまでに以上に徹底した優先順位の選択が必要である。

今後の町政運営にあたっては、新庁舎への移転や組織機構改革に伴い、新たな環境を活かして、住民サービスの向上や事務の効率化に最大限のメリットが発揮できるよう期待する。また経営資源として最も重要なものは優秀な人材の確保である。人材の育成の推進と適正な配置により、すべての職員が課題を認識し、これまで以上に責任感をもって町民の負託に的確にこたえられるよう業務を遂行されることを望む。

監査委員 井上 俊明

監査委員 野田 成幸

